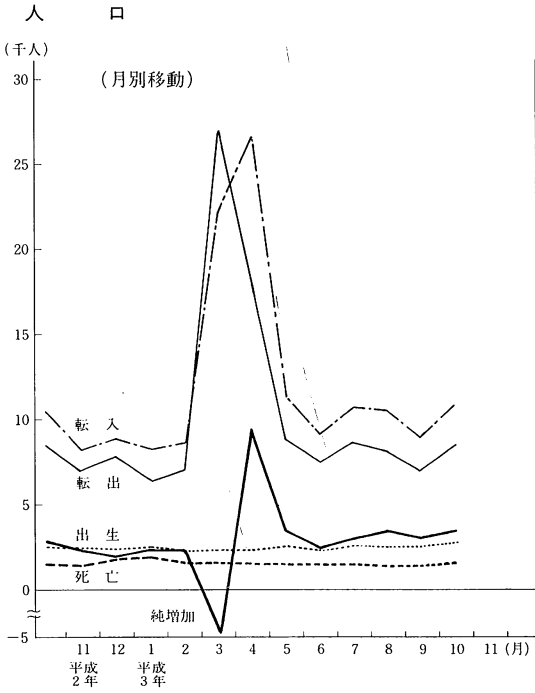
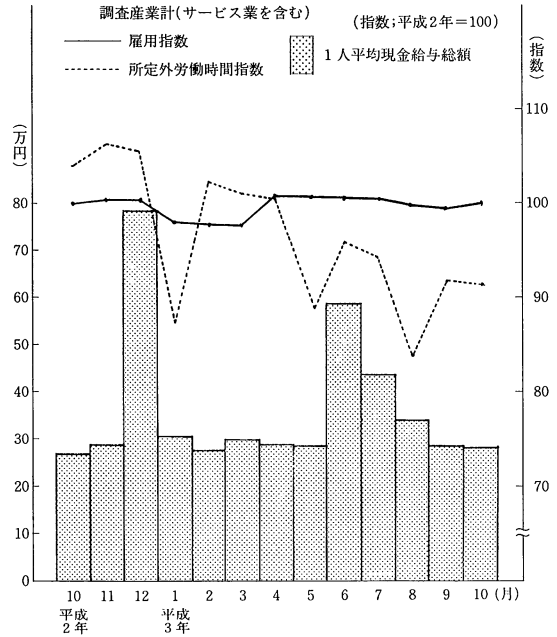


● 今月の主な動き

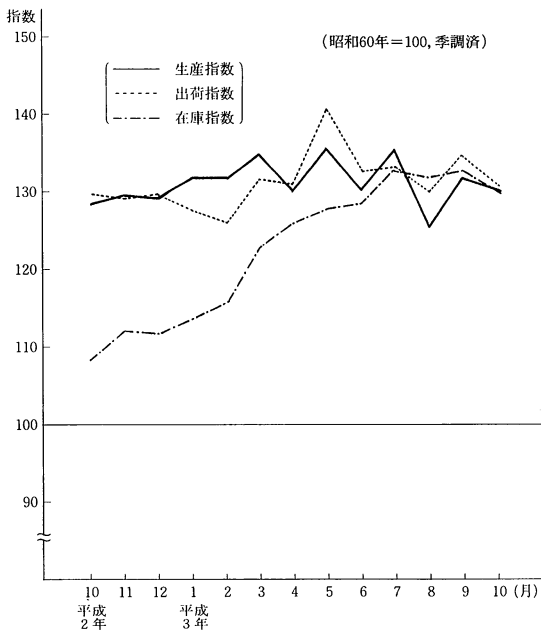
今月の主な動き



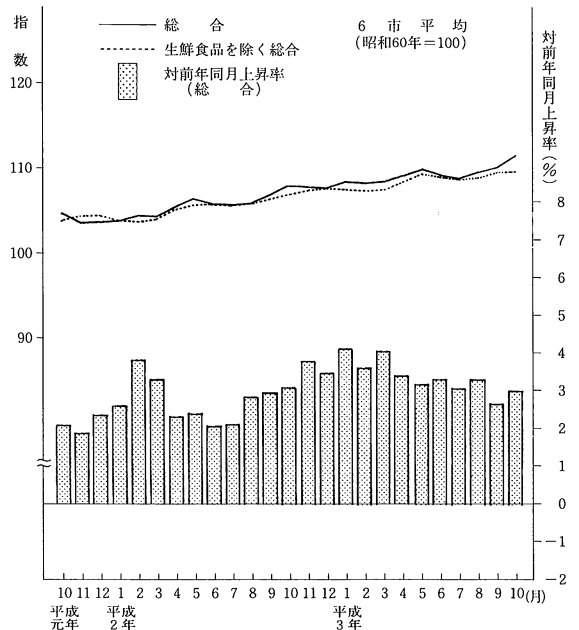
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし 企画部統計課

■人口(11月1日)

本県の人口は、10月中に3,338人増加し、11月1日現在で2,880,580人(男1,438,156人、女1,442,424人)となった。

内訳は、自然動態で1,197人(出生2,702人、死亡1,505人)増加し、社会動態で2,141人(転入10,876人、転出8,735人)増加した。前年同月と比べると32,330人(1.14%)の増

加である。

市町村別では、増加が16市48町村、減少が4市17町村、増減なしが3町村である。

世帯数についても10月中に、1,885世帯増加し857,601世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(10月)

1. 平均賃金の推移

10月の現金給与総額は、調査産業計で282,717円、対前年同月比3.5%増、このうちきまって支給する給与は280,845円、対前年同月比3.7%増であった。また、このうち所定内給与は250,762円、対前年同月比5.1%増であり、超過労働給与は30,083円、対前年同月比5.1%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比0.6%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

10月の総実労働時間は、調査産業計で168.5時間、対前年同月比4.1%減であった。このうち所定内労働時間は150.8時間、対前年同月比3.0%減、所定外労働時間は、17.7時間、対前年同月比12.2%減であった。

3. 雇用の動き

10月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.1%減であった。

■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(10月分)

本県における平成3年10月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が130.2、出荷が130.9、在庫が129.9で、前月比は、生産が△1.1%の低下、出荷が△3.2%の低下、在庫が△1.8%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が1.5%の上昇、出荷が0.9%の上昇、在庫が20.4%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、金属製品工業、石油・石炭製品工業、一般機械工業等が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、繊維工業等が低下した。出荷では、金属製品工業、非鉄金属工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が上

昇し、精密機械工業、一般機械工業、輸送機械工業等が低下した。在庫では、鉱業、輸送機械工業、一般機械工業等が上昇し、非鉄金属工業、石油・石炭製品工業、化学工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、鉱工業用生産財、非耐久消費財が低下した。出荷では、耐久消費財、非耐久消費財が上昇し、資本財、その他用生産財等が低下した。在庫では、資本財、建設財等が上昇し、非耐久消費財、鉱工業用生産財等が低下した。

■消費者物価指数(10月)

平成3年10月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で111.5(昭和60年=100)となり、前月比1.3%の上昇、前年同月比3.0%の上昇となった。

今月上がった主な項目……野菜・海藻26.0%、果物2.1%、設備修繕・維持1.3%、たばこ1.0%

今月下がった主な項目……シャツ・下着△1.6%、他の家具・家事用品△1.1%

生鮮食品を除く総合は109.7となり、前月比0.1%の上昇、前年同月比2.4%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	111.5	1.3	3.0	保健医療	106.1	△0.3	0.1
食料	114.2	3.5	5.4	交通通信	103.8	0.1	△0.2
住居	122.9	0.6	4.1	教育	125.6	0.0	0.9
光熱・水道	92.4	0.0	0.1	教養娯楽	114.6	0.8	4.5
家具・家事用品	101.4	△0.8	0.1	諸雑費	107.9	0.4	1.5
被服及び履物	118.0	△0.5	3.4	生鮮食品を除く総合	109.7	0.1	2.4